

新チームの第一歩

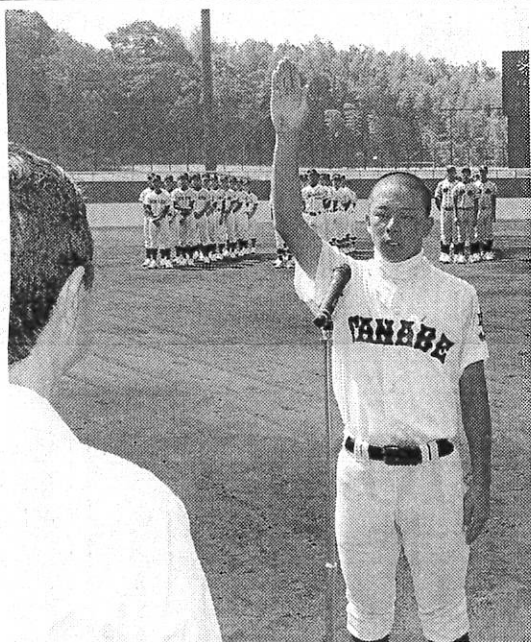
紀南10高校野球始まる

紀南10高校秋季野球リーグ戦が31日、田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパーク野球場で始まった。夏の大会を終えて3年生が引退した各校の新チームが一步を踏み出した。

田辺地区の6校(田辺、熊野、田辺工業、神島、南部、南部龍神)が参加した開会式で、当番校・田辺の主将の戒嶋一貴君(2年)が「智弁和歌山を除く県内38校が新たな

スタートを切った。甲子園へ出場するための第一歩となるよつ、お互いに切磋琢磨(せつさたくま)し、全身全霊でプレーすることを誓う」と選手を代表して宣誓した。田辺の岩崎浩久校長は「秋の大会に向けて成果、課題をつかんでほしい。実り多い大会となるよう祈念している」とあいさつした。開会式の後、田辺―熊野の試合が始まった。

8月1日から試合が始まる。佐野のくろしおスタジアムで新宮地区では、新宮、新翔、試合をする。5日には両会場串本古座、近大新宮が新宮市で交流戦もある。



田辺地区の6校を代表して選手宣誓する田辺の戒嶋一貴主将(31日、田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパーク野球場で)